

社会学(通信教育部)

授業のねらい

「凶悪化する少年犯罪の背景には、現代社会のさまざまな問題がある」などと、犯罪の発生と社会のあり方とを関連付けて語られる機会が多い昨今、では一体「社会」とは何なのか？—その意味を理解せずして「社会問題」を語ることなど出来ない。しかし、往々にしてその事実は忘れられ、何もかもを「社会」のせいにする姿勢が「社会問題」の究明を阻害しているようである。

本講義では、犯罪の発生原因と社会とを安易にリンクさせようとする現代の風潮に対して、批判のメスを入れてみたいと思う。

授業の計画

(昼間スクーリング)

「社会問題」を語る上で注意しなければならないのは、社会は「人間」によって作り上げられているということである。社会に「問題」が生じているということは、すなわち社会を作り上げている「人間」に問題があるということである。すなわち「社会問題」の深刻化とは、人間の質の問題である。そこで、望ましい「人間関係」構築のための基礎知識・技術を身につける。そのために、主として「社会」と「人間」のかかわりから必要とされる「役割演技論」について講義する。

(秋期夜間スクーリング)

時間的な都合もあるため、出来るだけ学生との対話によって講義を進め、短時間で理解を深められるようにしたい。そこで、受講前に「社会問題」について各自で考えておいてもらえると効果的。社会は「人間」によって作り上げられているものであるから、社会に「問題」が生じているということは、すなわち社会を作り上げている「人間」に問題があるということである。そういった観点から、望ましい「人間関係」構築のための基礎知識・技術を身につけるため、主として「社会」と「人間」のかかわりから必要とされる「役割演技論」について講義する。

社会学導入編	社会(学)とは何か(「舞台」の理解) 社会的動物としての人間(「共演者」の必要性)
役割演技論 入門	人間関係の諸相と構造(役名と演技内容) 恋愛に伴う欲求と効果(基本的人間関係の再考) 社会意識(演技内容の設定と演出) アイドル工学(求められる人間像)
役割演技論 応用	コミュニケーション(共演者との舞台合わせ) 現代家族(基礎集団での初舞台) 地域社会(より広範囲な演技)
その他	各項目の理解を深めるための実験・演習を予定

なお、質問は随時受け付ける。講義の前後でも、またはインターネットでも可能。

講義内容に関するURL <http://nihon-u.bewith.ac>

講義内容に関するメールアドレス yoshibei@nihon-u.bewith.ac

教科書 『人間社会の理論と構造』夏刈康男(ほか)著 学文社

参考書(必携) 服部慶亘著『ストレス・スパイラル——悩める時代の社会学』人間の科学社

成績・評価

講義内容を単なる「理論」として学ぶ学生よりも、「実践」を伴うものとして積極的に吸収しようと

する意欲のある学生の参加を期待する。また、極端なまでに(理由もなく)出席状況の悪い者には単位認定しない。評価は終講試験と平常点で行う。